

# 国語科 《第1学年》年間指導計画

## 国語科 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

## 国語科 第1学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、態は主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	言葉に出会うために (5時間)	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。	・朝のリレー ・野原はうたう	知 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 態 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	話し言葉と書き言葉 (3～4年)
5	1 学びをひろく (10時間)	・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 ・自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。	・はじまりの風 ・話の構成を工夫しよう	知 図などを使って、心情の変化を整理している。声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 思 場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。 態 場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチしようとしている。	読むこと 構造の内容と把握 (5～6年)
	2 新しい視点で (11時間)	・文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって ・情報を整理して書く	知 筆者の主張と事例との関係を理解している。集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。 思 序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。 態 進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。	話すこと 表現 (3～4年)
6	漢字の組み立てと部首 (10分×5)	・漢字の部首について理解し、部首に注目して漢字の読み書きができる。	・漢字の組み立てと部首	知 代表的な部首とその名前を理解し、その部首を使った感じを書くことができる。	
7	書写 (5時間) 読みやすく書くための楷書	・点画の種類を確かめ、筆使いに注意して楷書で書くことができる。	・漢字の筆遣い ・楷書に調和する仮名	知 点画の種類を確かめ、筆使いに注意して書いている。 態 学習課題に沿って進んで書こうとしている。	毛筆による書写 (3～6年)
	情報×SDGs (3時間)	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。	・情報収集の達人になろう	知 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 態 引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	情報の整理 (3～4年)
	3 言葉に立ち止まる (8時間)	・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。	・空の詩 三編 ・比較で広がる言葉の世界	知 詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 思 詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。 態 詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。	読むこと 精査・解釈 (5～6年)
	いつも本はそばに (2時間)	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。	・読書を楽しむ ・本の中の中学生	知 読書が、知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。 態 文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。	読書 (5～6年)

9	4 心の動き 〈16時間〉	・場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。	・大人になれなかった弟たちに…… ・星の花が降るころに	知 態	場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。 進んで場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	読むこと 精査・解釈 (5～6年)
	漢字の音訓 (10分×5)	・漢字の音訓について理解し、漢字の読み書きができる。	・漢字の音訓	知	漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり書いたりできる。	
10	書写〈3時間〉 読みやすく書くための楷書	・文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。	・文字の大きさと配列	知 態	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。 進んで用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え学習課題に沿って書こうとしている。	毛筆による書写 (3～6年)
	5 筋道を立てて 〈15時間〉	・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。 ・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ・根拠を明確にして書こう ・大阿蘇	知 態	筆者の意見と根拠との関係を理解している。 情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。 文章の構成や展開の効果について、根拠となる段落や部分を挙げて考えを書いている。 集めた資料やデータを根拠として明確に示しながら、自分の考えを書いている。	書くこと 構成の検討 (5～6年)
11	書写〈4時間〉 読みやすく速く書くための行書	・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書くことができる。	・行書の特徴 ・丸み・点画の連続	知 態	漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。 進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。	毛筆による書写 (3～6年)
	6 いにしへの心に ふれる 〈8時間〉	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。	・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉	知 態	音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。 進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。	伝統的な言語文化 (5～6年)
12	書写〈4時間〉 読みやすく速く書くための行書	・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書くことができる。	・点画の変化	知 態	漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。 進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。	毛筆による書写 (3～6年)
	7 価値を見いだす 〈11時間〉	・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする ことができる。 ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。	・「不便」の価値を見つめ直す ・話題や展開を捉えて話し合おう	知 態	情報の整理のしかたを理解し、本文を要約したり引用したりしながら、自分の考えをまとめている。 自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。 文章を読んで理解したことに基づいて、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。	話すこと 話し合いの進め方の検討 (5～6年)
	漢字の成り立ち (10分×5)	・漢字の成り立ちについて理解し、漢字からその成り立ちを区別できる。	・漢字の成り立ち	知	漢字の成り立ちについて理解し、読み方や意味を予想することができる。	
	いつも本はそばに 〈1時間〉	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。	・四百年のスローライフ ・はやぶさ2 最強ミッションの信実	知 態	読書の意義を理解している。 今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	読書 (5～6年)
1	書写〈4時間〉 学んだことを活かして書こう	・これまでに学習した楷書・行書の書き方を活かして作品をつくる ことができる。	・書き初め	知 態	楷書・行書の特徴の違いを理解している。 学んだことを活かして、進んで作品づくりに取り組んでいる。	毛筆による書写 (3～6年)
2	8 自分を見つめる 〈27時間〉	・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする ことができる。 ・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫 することができる。 ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。	・少年の日の思い出 ・二十歳になった日 ・構成や描写を工夫して書こう ・一年間の学びを振り返ろう	知 態	場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。 体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。 登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。 聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。	読むこと 考えの形成 書くこと 推敲 話すこと 表現・共有 (5～6年)
3				態	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。 集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点を資料にまとめ、発表しようとしている。	

# 国語科 《第2学年》年間指導計画

## 国語科 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

## 国語科 第2学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、態は主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	1 広がる学びへ (16時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。</li> <li>資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見えないだけ</li> <li>アイスプラネット</li> <li>枕草子</li> <li>魅力的な提案をしよう</li> </ul>	<p>知 登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。</p> <p>思 「くうちちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめている。資料を用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。</p> <p>態 積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。わかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。</p>	読むこと 構造の内容と把握 (5～6年) 話すこと 表現 (3～4年)
5					
6	2 多様な視点から (10時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。</li> <li>目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クマゼミ増加の原因を探る</li> <li>多様な方法で情報を集めよう</li> </ul>	<p>知 文章が六つの部分でできていることを理解し、線や矢印を用いてそれらの関係を整理している。集めた情報を表や図にまとめ、整理している。</p> <p>思 文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。知りたいことに適した方法を考えて、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。</p> <p>態 積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。</p>	書くこと 取材 (3～4年)
	熟語の構成 (10分×5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>熟語の構成について理解し、熟語の意味を予想できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>熟語の構成</li> </ul>	<p>知 熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。</p>	
	書写 (6時間) 読みやすく書くための行書	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点画の省略</li> <li>筆順の変化</li> </ul>	<p>知 漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。</p> <p>態 行書の書き方を理解し、学習課題に沿って進んで書くこととしている。</p>	毛筆による書写 (3～6年)
7	情報×SDGs (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアの特徴を生かして情報を集めよう</li> </ul>	<p>知 情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。</p> <p>態 粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。</p>	情報の整理 (3～4年)
	3 言葉と向き合う (8時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌に親しむ</li> <li>言葉の力</li> </ul>	<p>知 情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生きたと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。</p> <p>思 複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。</p> <p>態 進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。</p>	読むこと 精査・解釈 (5～6年)
	いつも本はそばに (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>翻訳作品を読み比べよう</li> </ul>	<p>知 活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考えている。</p> <p>態 今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。</p>	読書 (5～6年)
9	4 人間のきずな (14時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。</li> <li>根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒューマノイド</li> <li>字のないはがき</li> <li>表現を工夫して書く</li> </ul>	<p>知 登場人物の言動や伏線に着目し、それらが話の展開にどのように関わっているのかを考えている。相手や目的に応じて、敬語を適切に使って通信文を書いている。</p> <p>態 登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。</p>	読むこと 精査・解釈 (5～6年)

		ができる。		態	自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。	
	類義語・対義語 (10分×5)	・類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解できる。	類義語・対義語	知	類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。	
10	5 論理を捉えて (12時間)	・文章の構成や論理の展開について考えることができる。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	・モアイは語る ・適切な根拠を選んで書こう ・月夜の浜辺	知  思  態	筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。  文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。 根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。  粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。 粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。	書くこと 構成の検討 (5～6年)
11	書写(4時間) 文字を使い分ける	・目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる。	・楷書と行書の使い分け	知  態	目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。  書体を選択して書く必要性を理解し、学習課題に沿って適切な書体を選んで書こうとしている。	硬筆による書写 (3～6年)
	6 いにしへの心を訪ねる (10時間)	・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。	・平家物語 ・徒然草 ・漢詩の風景	知  態	与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。  進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	伝統的な言語文化(5～6年)
12	書写(6時間) 読みやすく速くかくための行書	・漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。	・行書に調和する仮名 ・行書と仮名の調和	知  態	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。  行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し学習課題に沿って進んで書こうとしている。	毛筆による書写 (3～6年)
	7 価値を語る (14時間)	・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。	・君は最後の晩餐を知っているか ・立場を尊重して話し合おう	知  思  態	二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。 説得力のある根拠と共に、意見をまとめている。  二つの文章に書かれていることを比較したり、関係づけたりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。 互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて話している。  粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。 進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。	読むこと 精査・解釈 (5～6年) 話すこと 話し合いの進め方の検討 (5～6年)
	いつも本はそばに (1時間)	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。	・「自分らしさ」を認め合う社会へ	知  態	実体験を基に書かれた作品の魅力に触れ、今後読みたい本を選んでいる。  本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。	読書 (5～6年)
1	同訓異字・同音異義語(10分×5)	・同訓異字・同音異義語の使い分けについて理解することができる。	・同じ訓・同じ音をもつ漢字	知	文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。	
2	書写(4時間) 学んだことを活かして書こう	・これまでに学習した楷書・行書の書き方を活かして作品をつくることができる。	・書き初め	知  態	楷書・行書の特徴の違いを理解している。  学んだことを活かして、進んで作品づくりに取り組んでいる。	毛筆による書写 (3～6年)
3	8 表現を見つめる (28時間)	・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。	・走れメロス ・描写を工夫して書こう ・国語の学びを振り返ろう	知  思  態	これまでに読んだ物語や小説の表現を参考にして、場面の様子や人物の心情を表す表現を使って書いている。 これまでの学習活動における具体的な変化を抽象化してまとめている。  「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている。 書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。 互いの考えを尊重しながら対話し、それを通して自分の考えを整理したり、価値づけたりしてまとめている。  粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。 粘り強く国語を学ぶ意義を考え、今までの学習を生かしてコピーにまとめてクラスで交流しようとしている。	読むこと 考えの形成 書くこと 推敲 話すこと 表現・共有 (5～6年)

# 国語科 《第3学年》年間指導計画

## 国語科 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

## 国語科 第3学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、態は主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容		評価規準	小学校との関連
4	1 深まる学びへ ＜13時間＞	・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 ・自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。	・握手 ・説得力のある構成を考えよう ・学びて時に之を習ふ	知	抽象的な概念を表す語句などを用いて、登場人物の人物像を表している。 情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切か確認して、必要な情報を集めている。 日常生活を振り返り、孔子の言葉が当てはまる体験を伝え合っている。	読むこと 構造の内容と把握（5～6年）
				思	文章の内容に沿って、登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。 導入や明確な主張、根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。 人間の生き方に関する孔子の考え方を、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。	
				態	文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。 相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを伝えようとしている。 人間、社会、などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして考えを伝え合おうとしている。	
5	2 視野を広げて ＜8時間＞	・文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。 ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。	・作られた「物語」を超えて ・論理の展開を意識して書こう	思	論説の特性を踏まえ、論理の展開を図式化するなどして捉えている。 課題に沿って、資料から得た情報を根拠として挙げながら、自分の考えを書いている。	
				態	進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。 論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。	
6	熟語の読み方 （10分×5）	・熟語の読み方を理解し、活用できる。	・熟語の読み方	知	漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。	硬筆による書写 （3～6年）
	書写＜4時間＞ 文字を使い分ける	・身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。	・全国文字マップ ・文字の使い分け	知	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。	
	情報×SDGs ＜3時間＞	・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。	・実用的な文章を読もう ・報道文を比較して読もう	思	実用的な文章の資料ごとに、情報の発信者・発信日時・発信目的・情報の受信者を確認している。	
7	3 言葉とともに ＜7時間＞	・俳句の構成や表現のしかたについて評価することができる。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。	・俳句の可能性 ・俳句を味わう ・言葉の釣り糸を垂らす	知	俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。	読むこと 精査・解釈（5～6年）
				思	語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、筆者の評価のしかたを捉えている。	
				態	語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、筆者の評価のしかたを捉えている。	
	いつも本はそばに ＜2時間＞	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。	・「私の一冊」を探しにいく	知	さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見している。	読書 （5～6年）
				態	進んで読書の意義と効用について理解し、学習の見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。	

9	4 状況の中で 〈11時間〉	・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。	・挨拶 ・故郷	知 思 感	文学作品を読むことが、自分の人生や社会について考えるきっかけとなることに気づいている。  自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値について考えている。  文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。	読むこと 精査・解釈 (5～6年)
	慣用句・ことわざ・ 故事成語 (10分×5)	・慣用句などについて理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	・慣用句・ことわざ・ 故事成語	知	慣用句やことわざ、故事成語の意味を理解し、使うことができる。	
	10 5 自らの考えを 〈10時間〉	・文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。 ・表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。	・複数の意見を読んで、考えよう ・考えを効果的に伝えよう	知 思 感	一つの課題に対して書かれた複数の文章を読み比べることが、自分の生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 選んだ題材を多角的に分析し、自分の考えと結び付く具体例を考えている。  提言の内容、論理の展開、表現のしかたなどについて、根拠を明確にしながらか評価している。 文体や表現技法などを検討したり、自分の意見を支える根拠となる資料を引用したりして、文章表現を工夫している。  三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。	書くこと 構成の検討 (5～6年)
11	6 いにしえの心を受け継ぐ 〈7時間〉	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・和歌の表現のしかたについて評価することができる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。	・古今和歌集 仮名序 ・君待つと ・夏草	知 思 感	三つの和歌の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。 作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。  心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。 芭蕉の「旅」についての考えと現代の「旅」がもつ意味を比較し、芭蕉が見たものや感じたことを想像している。  進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。	伝統的な言語文化 (5～6年)
	12 7 価値を生み出す 〈9時間〉	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。	・それでも、言葉を ・合意形成に向けて話し合おう	知 思 感	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。  友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめ、発表している。 提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。  言葉や社会、人間などについて進んで意見をもち、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。 合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	読むこと 精査・解釈 話すこと 話し合いの進め方の検討 (5～6年)
1	漢字のまとめ (10分×5)	・学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	漢字のまとめ	知	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。	
	いつも本はそばに 〈1時間〉	・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	・点、共に在り ・極夜行	知 感	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。  進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。	読書 (5～6年)
	書く〈6時間〉 学んだことを活かして書こう	・これまでに学習した楷書・行書の書き方を活かして作品をつくることができる。	・三年間のまとめ ・書き初め	知 感	楷書・行書の特徴の違いを理解している。  学んだことを活かして、進んで作品づくりに取り組んでいる。	毛筆による書写 (3～6年)
3	8 未来へ向かって 〈16時間〉	・場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	・温かいスープ ・アラスカとの出会い ・律儀な桜 ・わたしを束ねないで ・三年間の歩みを振り返ろう	知 思 感	自分で設定したテーマと内容、目的に合う文種を決め、冊子を編集している。  自分が伝えたいことが効果的に伝わるように、場に応じて工夫しながら話している。 記事の内容を効果的に伝えるために、紙面と文章の構成を工夫して書いている。  粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。	読むこと 考えの形成 書くこと 推敲 話すこと 表現・共有 (5～6年)

